

## ～ワークシートの使い方～ ＜意見文の書き方を理解しよう＞

### ■ワークシート&原稿用紙について

下記３段階の設定で、ご用意しています。  
生徒の学習状況に応じてお選びください。

初級…Ａ 「事実・意見」を分けて書こう  
(字数:320 字程度) ※250 字以上～400 字以内

中級…Ｂ 「事実・意見・根拠」の構成で文章を書こう  
(字数:450 字程度) ※400 字以上～500 字以内

上級…Ｃ 「テーマを自分で設定」＋「事実・意見・根拠」の構成で文章を書こう  
(字数:450 字程度) ※400 字以上～500 字以内



ワークシート・原稿用紙の  
右下のアルファベットを  
←確認してください。

### ■事前準備（ワークシートに取り組む前に）

☑ブレン・ストーミングの練習をしましょう。

※下記内容を参考に解説をしてください。

#### ブレン・ストーミングについて（以下、略称BS）

→意見文の事実（経験や知識）を思い出すときに役立つのが、BSです。

あるテーマについて、それに関する材料や問題を解くために役立ちそうなことを、自分の頭の中からできるだけたくさん、また幅広く集める方法です。

#### ブレン・ストーミングの練習－グループでやってみよう

→4～5人ずつのグループを作り、机を並べ替えて島形式にして、グループでBSをする。

- ・テーマは身近なものにする。
- ・ノートにメモをするか、付箋を使って記録するとよい。
- ・単語ではなく、文の形で記録させる。
- ・ある程度出たところで、グループごとに発表させる。
- ・自分たちのグループと他のグループとの発想の違いに目を向けさせる。

#### ブレン・ストーミングの注意点

##### 注意点

- ・関係があることだけでなく、関係がありそうなものでもよい。
- ・当たり前のことでもよい。
- ・先入観や常識にとらわれないようにする。

- ・箇条書きにして書き留める。
- ・質より量を尊重する気持ちで、できるだけたくさん思い出すようにする。
- ・役に立たない、分かりきっている等の批判はしないで残らず集める。
- ・他人の発言を手がかりに、そこから思いつくことを発言することを歓迎する。

#### ポイント1

思いついた単語しか記録していないと、後から読んだときに、どういう意味で書いたのか思い出せなくなることがあります。そのため、なるべく文の形で書き留めておくほうがよいです。

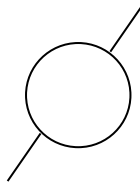
#### ポイント2

テーマに関してもう何も思い出せないという状態になったとき、周囲からちょっとした発言（ヒント）が与えられると、それが刺激となって再び考えが活発に出るようになります。

☑まずはBSを理解するために、ウォーミングアップから始めることをお勧めします。

※個人で取り組むことも可能です。

【例題1】「次のイラストを見て、思いつくものを、なるべくたくさん挙げてください。」



例えば…

- ①だんご ②あめ ③木星 ④地球儀 ⑤じゅず玉 ⑥眼帯 ⑦人間を上から見たところ
- ⑧金魚すくいを二枚逆さまに重ね合わせたもの ⑨シャツのボタンとボタンホール
- ⑩うちわを手元（竹筒部分の下）から見たところ ⑪・・・・・・・・・・・・・・・・

【例題2】『新聞』に関して、考えつくことを、なるべくたくさん挙げてください。」

例えば…

- ① 新聞には政治、経済の記事が載っている。
- ② スポーツ欄やテレビ・ラジオ欄がある。
- ③ 新聞は、テレビより速報性には欠けるが、詳しい情報を入手しやすい。
- ④ 新聞は簡単に持ち運びができる。
- ⑤ テレビがあるから新聞は読まなくていいという人が増えている。
- ⑥ インターネットを利用すれば、新聞の一部を読むことができる。
- ⑦ 好きなプロ野球チームが勝った翌日は、新聞を熱心に読む。
- ⑧ 記事の大小によって、その事からの重要性を判断することができる。
- ⑨ 新聞社による違いがあるので、二紙以上比べて読むとおもしろい。
- ⑩ 新聞記事によって、自分の考え方が影響を受けることが考えられる。
- ⑪ ・・・・・・・・・・・・・・・・

☑BSについて理解が深まったところで、ワークシートを配付しましょう。

## ■ワークシートに取り組もう

☑下記の順番に沿って、進めましょう。

### ① 『今日のテーマ』を設定しよう。

- ※1 ワークシート「A・B」を使う場合は『(別紙) テーマ設定例』を参考にテーマを選んでください。
- ※2 ワークシート「C」を使う場合は『シート内の「今日のテーマ」』を参考にテーマを選んでください。
- ※3 テーマは自由に設定していただいても構いません。

### ① テーマに関して思いつくことをたくさんあげよう。

※ブレイン・ストーミングをして、頭の中にある経験、知識、考えなどをたくさん取り出すように伝えましょう。

### ② 「①」について、事実には○、意見には☆、感想には△にマークをつけて分けてみよう。

※下記内容を参考に解説をしてください。

#### 事実とは

事実は、『実際に起こった事がら』『現実存在する事がら』のことです。

例えば、「このトマトはおいしい(個人的な感想)」「明日は晴れるだろう(予測)」など、書き手の意見、感想を含むものは事実ではありません。

#### 意見とは

意見は、『ある問題に対する主張・考え』のことです。

例えば、語尾が「○○すべきだ」「××が重要だ」など、自分の意見を表現したものが意見になります。

#### 感想とは

感想は、『物事について、心に感じたことや思ったこと』です。

例えば、「すごいと思った」「大変だった」など、自分の感情を表現したものが含まれます。

### ③ テーマに対する意見を書こう。

- ※1 「②」で分けた「☆意見」を参考に、テーマに対する意見を書かせましょう。
- ※2 意見が複数ある場合は、どれかひとつだけを選ばせましょう。

その意見を支えられる事実をあげよう。

※1 「②」で分けた「○事実」を参考に、意見を支えられる事実を書かせましょう。

※2 意見文では、事実を具体的に述べると、説得力が高まることを伝えましょう。

参考例 次の二つの文章で、空腹感が強く伝わるのはどちらですか。

a. 私は朝からほとんど食べてなかった。夕方帰宅すると、台所から食事の香りがしたので空腹を感じた。

b. 私は、朝に牛乳を少し飲んだだけであった。夕方帰宅すると、台所から肉と玉ねぎをいためる香りが、私の鼻を直撃した。私の意見とは関係なく、おなかがキューーンと鳴った。

⇒ 「b」のほうが、具体的に述べられているため空腹感が強く感じられます。

(★ワークシートAの場合)

④ 「①～③」までで考えたことを整理して、次のアウトラインを完成させよう。

※1 ワークシートに沿って、アウトラインを書かせましょう。

※2 アウトラインが完成したら、原稿用紙を使って意見文を作成させましょう。

-----

(★ワークシートB・Cの場合)

④ 自分の意見が正しいと言える理由を挙げよう。

※筋道立てて説明することを伝えましょう。

⑤ 「①～④」までで考えたことを整理して、次のアウトラインを完成させよう。

※1 ワークシートに沿って、アウトラインを書かせましょう。

※2 アウトラインが完成したら、原稿用紙を使って意見文を作成させましょう。

以上

## (別紙) テーマ設定例

※テーマ自由に設定していただいても構いません。

### 文章検『問題見本』より

- ・勉強やスポーツでは「ライバルがいたほうがよい」という意見と「ライバルは必要ない」という意見があります。どちらかの立場に立って、意見文を書きなさい。
- ・「中学校に制服はあった方がよい」という意見と「中学校に制服はない方がよい」という意見があります。どちらかの立場に立って、意見文を書きなさい。
- ・中学校や高等学校では、様々な教科・科目を学びます。すべての教科・科目が得意だという人は少なく、得意分野・苦手分野があるという人が多数です。これに関して、「自分の将来のために、得意分野を伸ばすべきである」という意見と「自分の将来のために、苦手分野を克服すべきである」という意見があります。どちらかの立場に立って、意見文を書きなさい。

### 文章検『過去問題』より

- ・会話の中では、「トウモロコシ」を「トウモコロシ」と言うなど、ささいな言い間違いをすることがあります。友人がそのようなささいな言い間違いをしたとき、言い間違いを「指摘する方がよい」という意見と「指摘しない方がよい」という意見があります。どちらかの立場に立って、意見文を書きなさい。
- ・将来就きたい仕事について、「できるだけ早く決めておいた方がよい」という意見と、「急いで決める必要はない」という意見があります。どちらかの立場に立って、意見文を書きなさい。
- ・話題の人気観光スポットについて、「ぜひ行くべきである」という意見と「必ずしも行く必要はない」という意見があります。どちらかの立場に立って、論説文を書きなさい。

以上